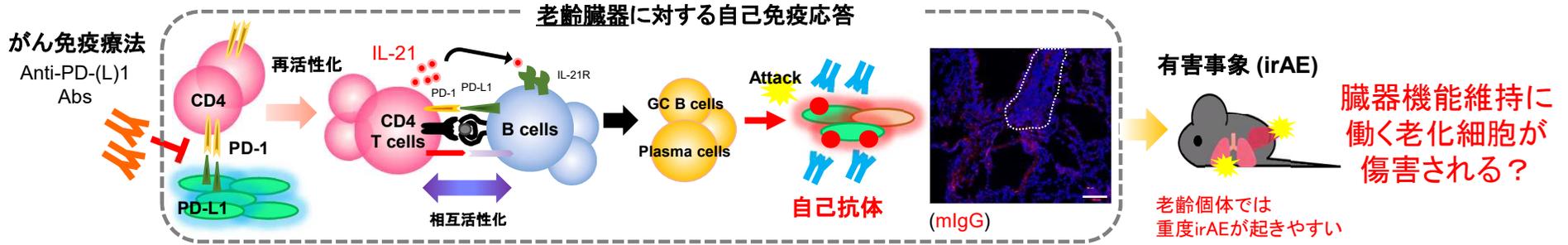


自己免疫応答を誘導する老化関連抗原発現細胞とその病的変容機構の解明 (塚本博文/京都大学)

背景

老齢臓器を特異的に認識する自己抗体が作られ、臓器傷害・機能低下が生じるirAE実験モデル



目的 方法

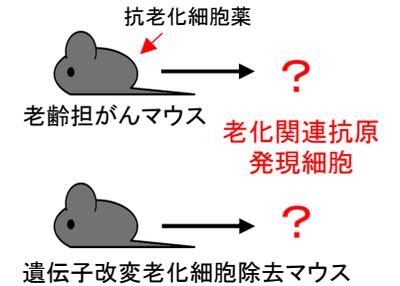
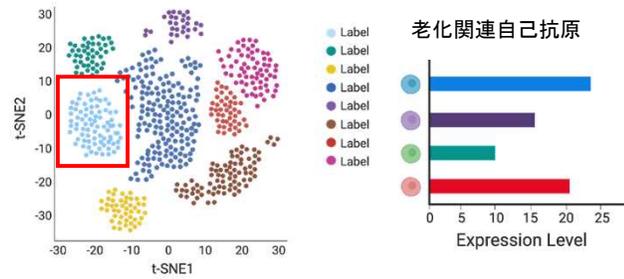
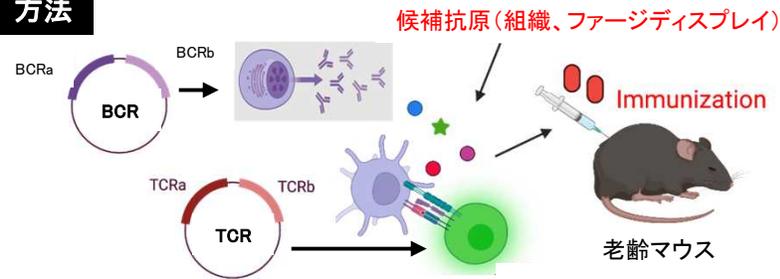
目的

① irAE誘導性T/B細胞の抗原受容体が反応する老化関連抗原探索

② scRNA-seqによる老化関連自己抗原発現老化細胞の特徴解析

③ Senolytics/Senomorphics感受性細胞の特定

方法



基礎的 到達

① 自己抗体が認識する老化関連自己抗原を同定

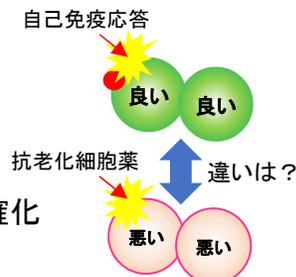
↓ マーカーとして使用

② 自己免疫応答の標的となる老化細胞の特定
= 臓器維持に寄与

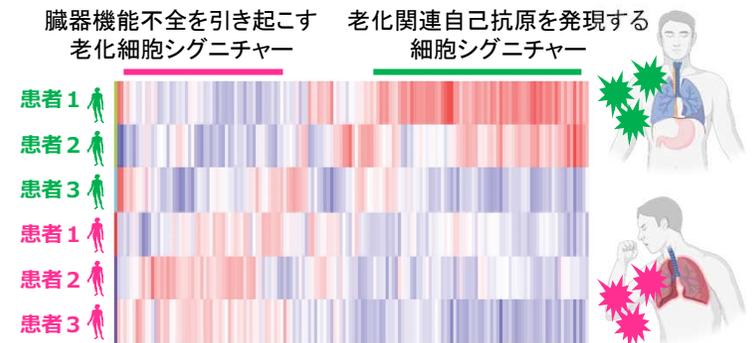
↑ 共通性、相違、関連性を明らかにする

③ 抗老化細胞薬の標的老化細胞との違いの明確化
= 臓器機能を低下させる

老化細胞それぞれの特徴的シグニチャーを明らかにする



老化細胞のheterogeneityを指標にして老化病態を診断、予防



医療 への 展開